

報道関係各位

2026年2月10日
株式会社ひらく

文喫 六本木で「彫刻家 大森暁生展 一言葉、樹に沁むー」 2026年2月13日（金）より開催 作家業30周年記念、表現の原点に立ち返る

株式会社ひらく（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：染谷 拓郎、<https://hiraku.info/>）が運営する“文化を喫する、入場料のある本屋”「文喫 六本木」では、彫刻家・大森暁生氏の個展「彫刻家 大森暁生展 一言葉、樹に沁むー」（企画協力：株式会社4D）を、2026年2月13日（金）から3月29日（日）まで開催します。あわせて、開催記念の特別企画として、大森氏に大きな影響を与えた漫画家・上村一夫氏の長女である上村汀氏（上村一夫オフィス代表）をゲストに迎えたトークイベントを2月20日（金）に開催します。会期中は、上村一夫氏の原画も店内に展示します。



本展は、大森氏の創作において欠かせない要素の一つである「言葉」に着目し、約3万冊の本が並ぶ「文喫 六本木」の店内各所に20点以上の作品を展示することで、「言葉」に囲まれながら、作品がもつ独自の世界観を味わえる構成となっています。代表的な作品のひとつである「血路のテーブル - Cougar-」や、テレビドラマで話題となった「翼霊」を間近で鑑賞できるだけでなく、大森氏自らが選書した“大森イズムをつくった本”的展示・販売も行います。

全国の美術館や百貨店、ギャラリーで数多くの展覧会を重ねてきた大森氏にとって、本展は、その表現の原点に立ち返る個展です。ぜひ文喫 六本木の空間で、大森暁生の世界をご体感ください。

■企画展「言葉、樹に沁む」概要

期間 : 2026年2月13日(金)～3月29日(日)
9:00～21:00、入場無料（一部有料エリアへの展示あり）
※有料エリアへの入場料は平日 2,750円 / 土日祝 3,630円（いずれも税込）
※有料エリアは15分程度の無料見学も可能です。スタッフまでお声がけください。
会場 : 文喫 六本木（〒106-0032 東京都港区六本木6丁目1-20 六本木電気ビルディング1F）
東京メトロ日比谷線「六本木」駅より徒歩1分、都営バス「六本木駅前」すぐ
企画協力：株式会社4D (<https://4dfws.com/>)

〈展示作品例〉



血路のテーブル -Cougar- 2023

©AKIO OHMORI

Photo : KATSURA ENDO



死に生ける獣 -Babirusa- 2016

Photo : KATSURA ENDO



夜咲華 -上村一夫へのオマージュ-

ED100 AP10

Photo: KATSURA ENDO



翼靈 1997

Photo : D.B.Factory



Glorious images Type-A

2012

ED 100 AP 10

Photo: KATSURA ENDO

■特別企画

① トークイベント開催「上村汀 × 大森暁生『風狂のすゝめ』」

上村一夫氏と交流のあった演出家・小説家の久世光彦氏は、漫画家 上村一夫を「風狂のひと」と評したそうです。一方、大森氏は自著『木端と言端』の前書きを「粹狂」という言葉で締めました。

風狂と粹狂、表現においての「狂」とはなにか。

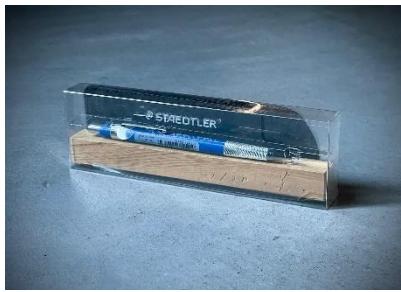
漫画と彫刻、生きた時代も異なりながら確かにある二人のシンパシーを、上村氏の長女で、上村一夫オフィス代表として名作をいまに残し伝えている上村汀さんをゲストに迎え、紐解きます。

・開催日時　　：2026年2月20日（金）19時～

・参加チケット：Peatixにて発売（<https://akioohmori260220.peatix.com>）

② 【限定20セット】大森暁生×文喫の特別コラボ！ステッドラー社製限定デザイン商品の販売

本展の開催を記念した特別コラボ商品を、カラー全3種・各20セット限定で会場にて販売します。



【大森暁生×文喫】コラボセット（税込価格：5,500円）

- ・770 シャープペンシル 0.5mm
- ・ウォッシャブルペーパーペンケース（カラー3種）
- ・木製ペントレイ

※写真は商品イメージです

③ “大森イズムを作った本”の展示

大森暁生氏が影響を受けてきた漫画家 上村一夫氏、落語家 立川談志氏、写真家 岩合光昭氏らの著書をはじめ、作品製作にあたって資料となった図鑑・事典など、約50冊を展示。大森氏を構成する要素の多様さを、本人による一言コメント付きで、「本」を通して楽しめます（一部は購入可）。

展示本の中には、初版本や絶版本など、今では購入できない一冊も。

■作家メッセージ

「作品はどういう時に思いつくのか？」「どうしてこんな発想が生まれるのか？」
頻繁にいただく述べます。

よくよく考えてみれば、自身の彫刻作品は”言葉”から生まれることが実に多く、
自分でも意外に思います。

たしかに作品にはいつもストーリー性を大事にしていて、

それは”言葉”がきっかけであればごくごく自然なことなのかもしれません。

言葉から生まれた作品たちがやがて言葉を発し、そして文喫の「言葉降る森」の中で
また新たな言葉を吸収し、お客様と自分を次の世界へと連れて行ってくれる。

今回の個展はそんな場所になればと思っています。

彫刻家 大森暁生

■作家プロフィール

大森 晓生（おおもり あきお）akioohmori.com

1971年東京生まれ。1996年、愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻を卒業。1995年から2002年まで『籐内佐斗司工房』で彫刻家籐内佐斗司氏のアシスタントを務めたのち、1999年に荒川区町屋に工房D.B.Factoryを開設（現所在地は足立区北千住）。国内外の美術館、ギャラリー、百貨店、アートフェア等での発表に加え、多くのファッショングランプやレストラン、ミュージシャンやテレビドラマ・映画等、異分野とのコラボレーションも積極的に行い表現の幅を広げる。

著書 『大森暁生フォトエッセイ+作品集 PLEASE DO DISTURB』（芸術新聞社）

『大森暁生作品集 月痕つきあと』（マリア書房）

『大森暁生作品写真集 しあわせな彫刻』（芸術新聞社）

『| 幻触 | 彫刻家 大森暁生』（芸術新聞社）

『木端と言端 一彫刻家の作品と言葉ー』（美術出版社）

■「文喫 六本木」店舗概要（<https://roppongi.bunkitsu.jp/>）

所在地 : 〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 1-20 六本木電気ビルディング 1F

電話 : 03-6438-9120

営業時間 : 9:00～21:00（飲食 L.O. 20:30）不定休

入場料（税込価格）: 2,750 円（土日祝は 3,630 円）

■「文喫」について（<https://bunkitsu.jp/>）

文喫は、“文化を喫する、入場料のある本屋”をコンセプトに、持続可能な新しい書店モデルの提案として展開している滞在型書店です。滞在型書店のパイオニアとして2018年に開業した1号店「文喫 六本木」（東京）を皮切りに、2021年には老舗百貨店のカルチャースクールと融合した新業態として2号店「文喫 福岡天神」（福岡）を、2024年には3号店となる「文喫 栄」（愛知）をオープンし、2025年9月12日には文喫史上最大規模となる新たな旗艦店「BUNKITSU TOKYO」を東京・高輪ゲートウェイシティにオープンしました。店内に、読書に没頭できる書斎のようなスペースや、ご友人・ご家族とゆったり過ごせる喫茶スペース、クリエイティビティを高めるワークスペース、企画展やポップアップなどを楽しめるイベントスペースなどを併設し、心置きなく本と過ごせる空間を提供しています。

■株式会社ひらくについて（<https://hiraku.info/>）

本のある場所や空間の価値を見つめなおし、本をはじめとした文化的コンテンツを用いて、生活者が暮らしの豊かさ・楽しさを感じられるような場づくりに取り組んでいます。「文喫事業」「プロデュース事業」「公共プレイス事業」の3事業を軸に、文喫のほか、「雑誌の図書館 COVER」、まちの本屋＆ホテル「ねをはす」のプロデュースなどを手がけています。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ひらく 事業統括部 広報担当：陳之内

TEL.03-3233-3829 FAX.03-3233-6045

E-mail : press@nippan.co.jp